

さらに、健診・人間ドックを受けた者はどのような機会に受けたのかをみると、男は「職場における健診」が 55.1% と最も多く、次いで「市区町村で行う健診」が 22.6%、「人間ドック」が 9.1% となっており、女は「市区町村で行う健診」が 43.5% で最も多く、次いで「職場における健診」が 34.1%、「人間ドック」が 6.9% となっている。(表 1)

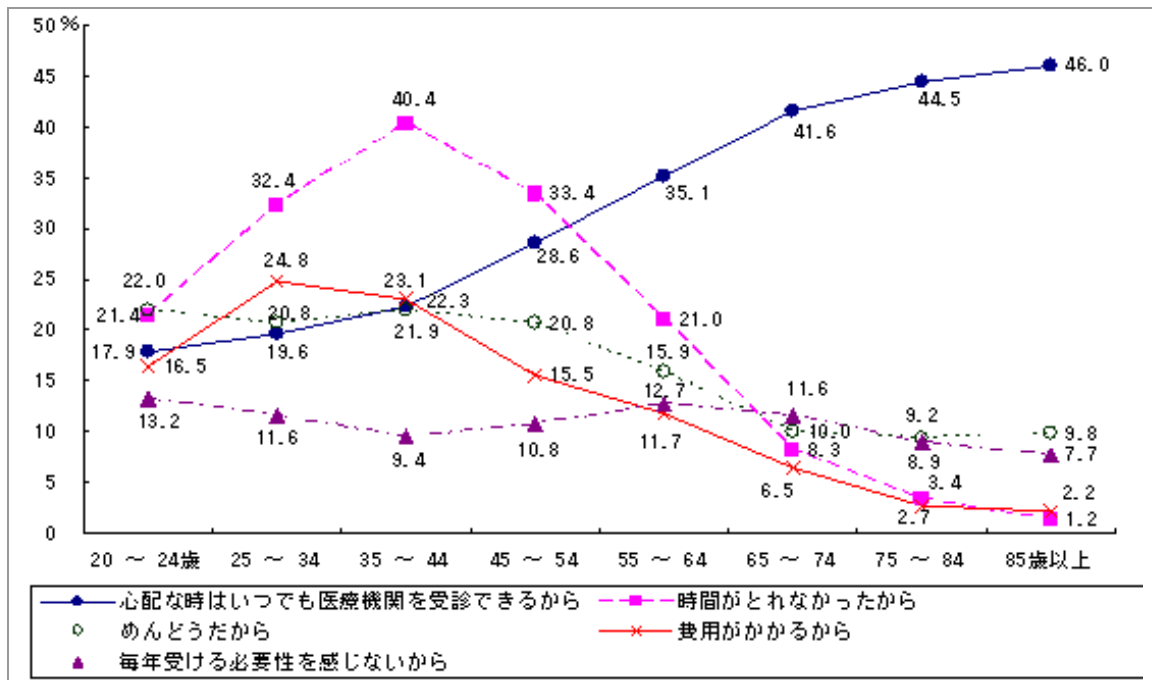
性・年齢階級別に見た健診や人間ドックを受けた者の割合

表 1 性別に見た健診や人間ドックの受診機会の割合 (20 歳以上・複数回答)

(単位: %)

性	総数	市区町村で行う健診	職場における健診	学校における健診	人間ドック	その他
総数	100.0	32.6	45.0	2.2	8.0	5.4
男	100.0	22.6	55.1	2.3	9.1	4.5
女	100.0	43.5	34.1	2.0	6.9	6.4

注: 1) 入院者は含まない。
2) 健診や人間ドックを受けた者を 100 とした割合である。



年齢階級別に見た健診や人間ドックを受けなかった理由の割合 (20 歳以上・複数回答)

また、健診や人間ドックを受けなかった者について、その理由を年齢階級別にみると、25~54 歳では「時間がとれなかったから」が多く、55 歳以上では「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が多くなっている (上図)。

【金子健史】

※ 本稿の一部は、「医療と検査機器・試薬 第 30 巻 第 1 号」の転載であることをお断りいたします。 次号へ続く...